

令和5年度 学校評価の結果について〔自己評価…職員・保護者・児童、学校関係者評価…学校運営協議会委員〕

※自己評価総合には地域関係者(自治公民館長など)を含む。

	評価指標	評価項目 【自己評価の結果】 <u>職：職員、保：保護者、児：児童</u>	自己評価総合 ※4段階	学校関係者評価 ※10段階	学校運営協議会委員の意見 <u>○よい点 ●改善 ☆要望・意見等</u>
知	○ 基本的な学習習慣の定着・学習意欲の向上	① 基本的な学習習慣を定着させ、学習意欲・読書意欲を向上させます。  【職3.0 保3.1 児3.1】	3.1 (3.2)	7.9 (7.8)	<p>○ タブレットをうまく活用でき、調べ物をする機会も増え、勉強の効率が良くなったと感じました。</p> <p>○ ICTの活用により個別最適な学びができているように感じています。</p> <p>○ ICT活用能力に関しては、授業中の活動で自主的にかつ技術的にも凄く意欲的に取り組んでいて感心しました。この活動が学力向上に繋がっていくことを願います。</p> <p>○ どの学年の児童もタブレットをよく活用できていると感じました。授業態度は落ち着いていて良いと思います。</p> <p>○ 授業時間の態度にはいつの参観でも感心させられます。担任の日頃の指導の成果でしょうか。</p> <p>● 学力がまだ身に付いていない子どもの底上げに関し、分かるまで頑張ることのできる子どもの育成をお願いします。</p> <p>☆ 文部科学省の「学びのイノベーション事業実証研究報告書」によると、タブレットPCの使用時間増加により視力低下、ドライアイ、眼精疲労等の影響があると懸念されています。教室内の照度(特に廊下側)やディスプレイの光の映り込み防止のための措置、タブレットPC使用時の姿勢等、注意して利用していく必要があると思います。まばたきを意識的にすることや、遠くの目標物と親指を交互に見るトレーニングをする時間を設けるなど、目の健康についても併せてご検討いただきたいです。</p> <p>☆ 学力向上については個人差がありますが高まってきている報告を受け、先生方のご指導に感謝いたします。</p> <p>☆ 学習によっては教師が2人から3人体制で連携しての指導方法も学習意欲向上や伸ばす授業として効果があるように思えます。</p> <p>☆ ICT活用に低学年から取り組むことで学習や学校生活において向上心に繋がるのでは。</p> <p>☆ ICT活用において遅れ気味な生徒に優しい指導を望みます。</p>
	○ 確かな学力の育成	② わかる、できる、伸ばす授業づくりに努め、学力を向上させます。  【職3.1 保3.2 児3.3】			

※( )は  
令和4年度

					<p>☆ デジタル化が進む中で、学習方法の確立に積極的に取り組まれる先生方のご尽力に敬意を表します。「子どもの幸福」のための教育という原点を見失わない教育を期待します。祝小には教師不足の心配はありませんか。</p> <p>☆ 「読書」を一人も漏れなく習慣化させてほしい。読書経験は人生経験の縮図であり、自分の力で「答え」を探し出す力を育むものと思います。</p>
徳	<p>○ 基本的な生活習慣の確立</p> <p>○ 心の教育</p>	<p>① 基本的な生活習慣を身に付けさせます。主に：あいさつ、右一静歩、無言の場</p> <p>【職2.9 保3.3 児3.3】</p> <p>② 心に響き合う道徳教育の充実に努めます。主に：生命尊重、思いやり、言葉遣い、ボランティア</p> <p>【職3.1 保3.2 児3.5】</p>	3.2 (3.3)	8.1 (7.0)	<p>○ 登下校中、挨拶を進んでしてくれる子ども達が見られ、気持ちが良いです。感心しました。</p> <p>○ 高学年だけではなく、低学年も授業に対する姿勢がいつも素晴らしいです。</p> <p>○ 祝吉の児童は挨拶はよく出来ていると思います。横断歩道で車を止めると渡り終わった後は必ず挨拶してくれます。これからもそんな児童が増えてくれると嬉しいです。</p> <p>○ あいさつにおいては低学年から元気の良さが伝わってきます。</p> <p>○ 校内を回っているときに学年に関係なく会釈や挨拶がしっかりできていて感動です。子どもたちも生き生きしている姿を見て嬉しく思います。</p> <p>○ 基本的な生活習慣等については児童の姿を見る事がないのでよく分かりませんが、早水の育成会の行事等にはよく参加してくれています。12月3日は餅つきをしたのですが、沢山の児童の参加で高齢者との交流等もありました。</p> <p>● 挨拶は積極的にしてくれる子どもが去年よりも増えましたが、半数には満たない印象です。</p> <p>☆ 基本的な生活習慣がしっかり身に付くためには、学校と地域・家庭との連携が大切です。常に情報の共有や実践活動の連携に広い視野で計画していきましょう。</p> <p>☆ 校外においても、大人に対して元気を与えられるようなさわやかなあいさつで地域活性化に繋がることを期待しております。(祝吉地区は子どもが元気!!←祝吉地区のキャッチフレーズを目指して)</p> <p>☆ 高齢者や障がい者、幼児に対して思いやりを持って対応できる心の教育の充実に願っています。</p> <p>☆ 「命を大切にする」学習を促進してほしい。いじめ等の防止のためにも。</p>

体	<p>○ 体力の向上</p> <p>○ 自己管理能力の育成</p>	<p>① 運動の日常化に努め、体力を向上させます。 【職3.0 保3.2 児3.4】</p> <p>② 健康管理(歯科衛生、立腰指導等)に努めます。 【職2.7 保3.1 児3.6】</p>	3.2 (3.1)	7.0 (7.1)	<p>○ 運動会に久しぶりに参加して、コロナに負けない児童の姿を見る事ができ、日頃の教育がしっかりとされている事を実感しました。</p> <p>● 一緒に体を動かす時間を設け、家庭環境で体を動かすといった取り組みが大切かと。</p> <p>● 危険予知、危険回避については、やはり自転車の乗り方が気になります。スマホ片手に自転車に乗っている児童を見かけた事があります。また、公園から道路に止まらず出てくる事もあります。とても危ないです。もう少し指導が必要かと思います。</p> <p>● 地域防災組織の確立と学校防災組織との協力体制づくりが必要であるように思う。</p> <p>☆ コロナ禍、全国的に運動能力が低下し、肥満の割合が増えたとのことですが、コロナが5類になり、運動の機会は増え、子どもたちの運動能力は上昇したのか、祝吉小学校の体力向上プランとは何か、昨年の学校評価報告書では職員の評価が低く感じましたが、今年度どのような取り組みを行ったのか、ご回答いただきたいです。運動習慣については各家庭の意向も大きく影響していると思われますので、機会の提供などPTAで何かできることがあれば、お知らせください。</p> <p>☆ コロナの影響で自粛することが多かったのですが、緩和されたことで運動する機会が増え、体力も回復してきたと思います。授業の中でも、体力向上に向けて場の工夫や内容の充実にも取り組んで、汗びっしょりで目を輝かせた子どもの姿を見せてください。</p> <p>☆ 体力向上により、病気から身体を守る、また、精神面等、成長期に体力を高めることの重要性をしっかりと理解させ、積極的に取り組む姿勢を期待しています。</p> <p>☆ 学校のコロナ対策に挑戦した生徒たちは、コロナを反面教師にして、健康、衛生、安全、協同、友情、勉学等に対する「自己管理能力」及びどんな困難にも「負けない力」を心身ともに育む貴重な体験ができたと思います。</p>
ふるさと	○ 郷土愛につながる祝吉小学校ならではの教育活動	<p>① PTAや地域の行事及び体験的活動(ふるさと教育)の推進と充実に努めます。 【職3.3 保3.2 児3.4】</p>	3.1 (3.1)	7.6 (7.4)	<p>○ 学校と地域が連携して、町探検などの授業をすることで、子どもたちも楽しく学べるし、自分の地域の事を調べる事が増え、良いなと感じた。</p> <p>○ まちたんけんや 10 オのハローワーク、豆腐作り(今年度は味噌作り)など、地域の方々のご協力により、子どもたちは豊かな体験や経験ができています。地域の取り組みや活動について子どもたちが知る機会を増やすためには保護者への周知や理解が重要だと考えます。PTAを通じて保護者への声掛けを強化していきたいです。</p> <p>○ 敬老会や高齢者のサロンに参加して児童が自ら考えた内容の出し物に感動されている方が多くいらっしゃいました。児童の創意工夫等に感心したことです。</p>

ふ る さ と		<p>② 夢や希望を育むキャリア教育の推進、家庭や地域との連携に努めます。</p> <p>【職3.0 保3.0 児 無し】</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家庭、地域との連携において、それぞれが課題等を共有し、本音で語り合える場所の設定が必要では。</li> <li>● 先生方と地域人材候補者との定期的な交流の場の設定が必要では。</li> <li>☆ 地域との連携で充実した活動を目指し、より多くの人材確保のための取組を望みます。</li> <li>☆ 子どもを育てる力は学校だけでは無理があります。全ての家庭がしっかりできるわけでもありません。土日祝日を中心に地域で出来ることも多くあります。地域も情報発信して子どもの健全育成に努めてまいりますので、いろいろ連携していきましょう。</li> <li>☆ 祝吉はすごいと言われるような地区にするために子どもと学校を真ん中にしながら、いろいろな団体との連携を図るための会議等を積極的に行っていくことが大切です。学校が今何を求めているのか発信していただけたら連携が取りやすいのではないかと考えます。多くの施設や団体を利用してください。</li> <li>☆ コロナ禍を経て、地域の行事も再開されるようになり、子どもたちも参加出来るようになった事は嬉しく思います。</li> <li>☆ 教師の過労に注意のうえ、地域との連携を工夫して発展させてほしい。地域は子供の生活の基盤であり、社会的な生き方を伝える舞台だと思います。公園等で遊ぶ子供達には、学校と違った生き生きさがあり、責任感、忍耐力、包容力などを自然に身につけていくように感じます。</li> <li>☆ 「家庭訪問」の長所を生かす検討はできないか。</li> </ul>
------------------	--	---	--	--	--